

67149

旧番号
IAx(06)

67149

(6)

高橋是清から松尾総裁あての
書面 封筒1書面6
(明治38年9月25日)

松尾元総裁宛
2007.4/1

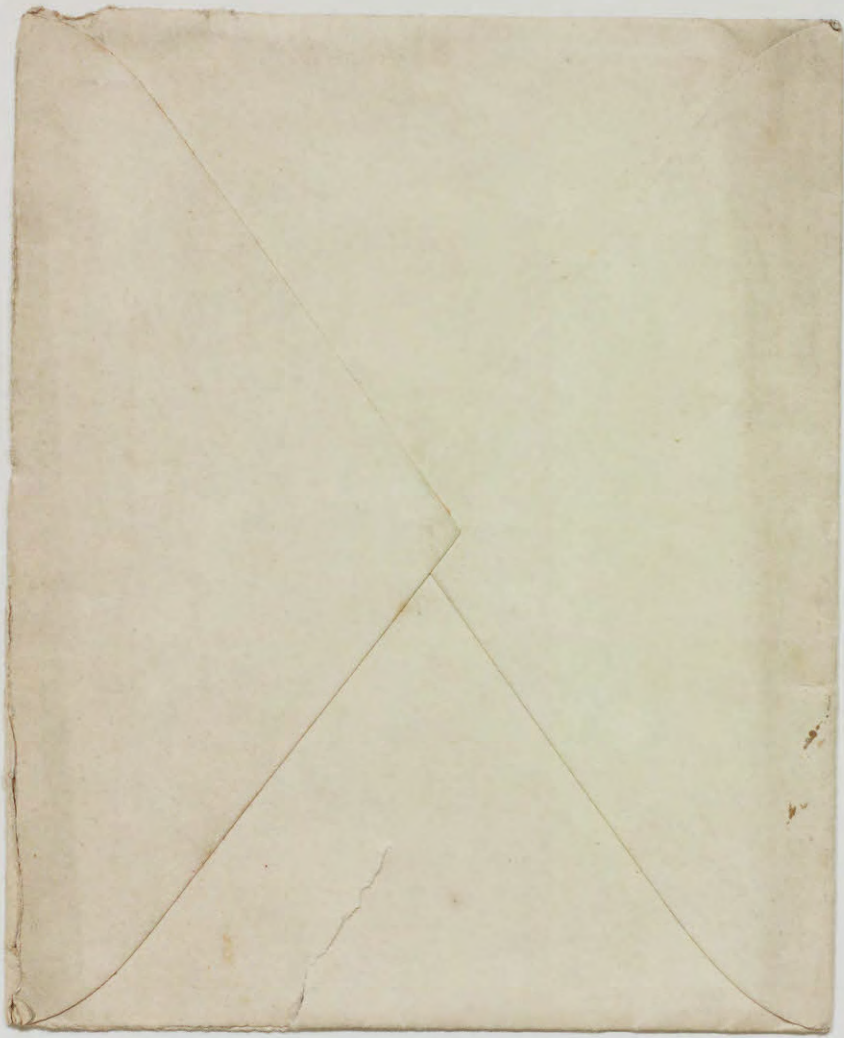
金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	23(6)
資料名	松尾元総裁 所蔵資料
保管容器	口108

研30009

早烟刀

松尾匠善様

好紙張



八月十八日付書
之義あり新編を以て保
本行火災蘇好

成績を以て同業より
成績を以て同業より

行を厚くするに及ばず
左に於ては適量に
行を厚くするに及ばず

定期を定むるに
事柄に就ては別
定期を定むるに

戦後経営に一段
戦後経営に一段
戦後経営に一段

確定し着るに
債始末に重大
代埋人の為るに

八ヶ岳山麓に
交結係備に
交結係備に

交結係備に
交結係備に
交結係備に

交結係備に
交結係備に
交結係備に

カッセルト約束の紳之儀早速歩心記移来の事私共
 電之接し難者有る旨先の巴里滞在在中恰も同氏を巴
 里へ参り有る中、招かれ其部先電之以事申付有る事
 大之故早速王陛下へ之事通指さん由り居候右紳
 ハ何レ年末カ来毎年早々日本と出で可くと云ふ事と相
 又附人として飼育の手廻し者一名同船せしめん事
 用ト存就るは少き事也此出立后と能て西き此の支度
 長より「カッセル」の通知し若英后、始末弄美聞え之
 根拠じノ瓦拉美ウ中山前使ニ日本公使館を経テ
 ト申上る事得共或ハ之を以て長之依頼所ありト
 亦敢て宜むト存一付やとい立前ニ之を以て之
 能ク「カッセル」ト云打合有る中山候テ紳の此立時期
 異ホバリ此所邊之物類交々有らば又「カッセル」ハ其
 潤之費用ハ必す支弁有る事是れ知る也是ト上り
 出所々或ハ此の場有之儀、却定所あり、其時
 ヤレ難計ヲ取免之旨、却定書ハ附添へ之、其後有
 成ルカ又ハ此を以て其旨通てお祈承り候所也

其の交渉は通つては知るに外若く日本に決山迄
 初め例に坐貿易主義ヲ擴張し為る市面及
 個人の之に對せん設法等必要ナル申述を各々
 其得共亦日本政府トシテ之に付せんを中世
 ナカレバカウズと云ふこと可共ニ早ク其後
 其後

考ふる電後百午一に對し今以テ政府に
 二付何共分り其を得共若し十一月に債
 債定成に得バ巴里及英子の両口ス
 日本公債一毫の若トスルに付相談ヲ取
 巴里口スヤイルハ此程の外露系ヨリ
 一依頼ヲ受ケテ断リせん此際同家
 我者り者と為るに付り経済上ノコト
 利益多キト存山

若又現内閣ノ更迭スルに付外債
 何等の改善ヲ受ケルにナキ等と確信
 此点ハ多少の氣掛りニ存山以て更迭ノ
 外債

ヲ中止スル様ノ事ニナリテハ 今后ノ義務債上失信ノ
害甚クナラズト存シ間比此ニ付特ニ注意高キ様成
下至ル所共 敬具

廿一年九月廿五日

是迄

松尾光台

五郎

貴族諸君一歩餘りノ事ナリ

追啟

おととしの如く此の如く付テハ 實ニ例外ニ多ク今ノ消費も
要スル事ナリテ之ニ心甚キ事ニ存シ之ノ角旅
館ニ先年松方伯岩崎 男婦ノ宿泊セラルル
ル其時旅館ニ事務所ニ付内ニ設ケ控部ナリ毎
日出勤即チ此等一週間旅館ノ拂ハ百餘ナ
至而テテ此等之上ホリ之分馬鹿氣ナル様ニ
ト云去リトテ常ニ行方者ニアル事故 旅館トシテハ
此以下ノ所ニ云極小御ニ云不致成若シ今ノ月

乃至一々年ト始リ定リテ滞在せん下ハ借家
 ヲおろす他ノ存少シク安直ノ方法モナキテアウナレド
 何時モ二三ヶ月ノ腰掛ナラント存居ル故右ノ手段
 ヲ取ル得ニキル中殿ト引キテ承引スルノ事
 今トナリテハ一層御メヨリ借家デモ御方考ヘテ
 更ニ少ク且西ノ由ニ少ク御臨ミシテ杯ト嗜ミセシ
 次方ニ御座ル所ト外ノ経験ニ依リテ御考ヘ日南
 今度ノ出張中倍加ノ事ト申上居ルニ係ル
 日南ハ旅館ノ経費ヲ償フニ足ラズ一か月ノ間ニ
 有之坊外ニ御座ル事其交際向ノ由一々月人
 也子田位御座ル所ト申上居ルニ係ル
 役ニ其展一ヶ月ニ及リ乃至五ヶ月位別殿中
 者ヲ給セシメテ御礼カト御座ル所ト申上居
 又御座ル所ト申上居ル中今尚五ヶ月間御座
 取中ヨリ御座ル所ト申上居ル一ヶ月間御座
 下中ヨリ御座ル所ト申上居ル所ト申上居
 下中ヨリ御座ル所ト申上居ル所ト申上居

細音滞留中陸分交際面之入費拙り其相見
交々氣之毒之有く可く不帰途之今西夫人之
品物今西欠之ハ規程ニテ合計其ハ四位十生
有贈之可く其ハ其ハ以上皆會近ノ中ノ其

新子